



GO!

http://www.jfaiu.gr.jp

2018.3.29 No.19-05

EXPRESS

航空連合NEWS

発行：航空連合／発行人：内藤 晃 〒144-0041東京都大田区羽田空港1-6-5 第5綜合ビル5階 TEL (03) 5708-7161 FAX (03) 5708-7163

～「航空保安」・「国際観光旅客税」～ 航空連合の主張をふまえ、広田衆議院議員が国会で発言!

第19期 政策実現総行動

3月20日(火)、衆議院国土交通委員会において、元航空政策議員フォーラムメンバーである広田 一(ひろた はじめ)衆議院議員が、「航空保安」と「国際観光旅客税の使途」について、航空連合の主張をふまえ発言しました。

また、「国際観光旅客税」に関連する法律案に対し、航空連合の主張を反映した附帯決議(※)を提出し、採択されました。

※付帯決議：国会の衆議院及び参議院の委員会が法律案を可決する際に、当該委員会の意思を表明するものとして行う決議。



広田 一 衆議院議員

【航空保安について】

テロ対策は国家的な課題であり、航空保安における費用負担のあり方については、国の一般財源を含めて負担割合を引き上げていくことを検討するべき。

【国際観光旅客税の使途について】

ストレスフリーで快適に旅行できる環境の整備に向けて、最新技術を活用した顔認証ゲート等のCIQ体制の整備を進めていくとともに、保安検査の整備を計画的に進めていく必要がある。

～附帯決議(抜粋)～

- ・国際観光旅客税を財源とする施策を実施するための予算配分にあたっては、透明性や公平性を確保し、使途を厳格にすること。
- ・国際観光旅客税を財源とする施策の実施にあたっては、負担者である日本人と訪日外国人旅行者双方が直接的に受益を実感できる使途に充当すべきであり、ストレスフリーで快適かつ安全・安心な旅行が実感できるよう、出入国手続きの簡素化および保安検査の円滑化・厳格化等、空港環境整備の充実を図ること。